

補助金公募実施結果

令和7年3月7日

経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー課

事業名：令和7年度「住宅・建築物需給一体型等省エネルギー投資促進事業費」

(採択事業者)

事業者名	法人番号	採択価格	採択指定事業
一般社団法人環境共創イニシアチブ	1010005016502	5,500,000,000円	A) 超高層ZEH－M実証事業 B) ZEB実証事業 C) 既築住宅のZEH改修実証支援事業

(提案事業者名)

一般社団法人環境共創イニシアチブ

(審査委員属性)

大学教授

大学教授

大学教授

※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

(採点結果)

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
一般社団法人環境共創イニシアチブ	46	60	53	159/219

提案事業者名	応募資格	事業内容	事業実施体制	事業実施計画	事業費	業務管理費	賃上げ、ワークライフ・バランス	合計
一般社団法人環境共創イニシアチブ	適	54	62	11	10	22	0	159/219

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
一般社団法人環境共創イニシアチブ	ZEH-M実証事業、ZEB実証事業については長年にわたり確実に実施しており、経験に基づいて募集体制、審査体制を確立しているため執行団体として問題はない。既築住宅のZEH改修事業が新規に加えられたが、従来から類似事業を実施しているため十分なデータの蓄積があり所期の成果が挙げられるものと思われる。 豊富な関連実績に基づく知見を活かした、充実した提案内容になっている。ZEH、ZEBに関わる登録制度登録制度の構築・運用、実績データの収集・分析とその発表会の実施、データースの公開など、本事業の成果を高めるための効果的な工夫が見られ、それらが今後、ZEB、ZEHの取組を促進する社会インフラになることが期待される。 業務実績が豊富で業務遂行上の課題は感じられない。 既往の事業であるZEH-M、ZEBについては運用段階の実績データの開示、公表方法が重要であると思われ、一定の提案があったが、具体性はやや乏しかった。 新規事業である既存住宅ZEH改修は、応募数を確保することが課題であると思われるが、その点に関する課題意識は高いと感じた。